

第4回定例議会が、12月13日から21日まで開かれ、職員の給与に関する条例の一部改正、町長の資産等の公開に関する条例の一部改正、御坊広域行政事

務組合の規約の変更、一般会計補正予算、特別会計補正予算などの議案が提出され、すべて原案どおり可決しました。



するものです。

(全員一致)

国民健康保険条例の一部改正

健康保険法等の改正により65歳以上75歳未満の前期高齢者にかかる国保税を年金からの特別徴収に改正するものです。

(賛成多数)

川辺国民健康保険条例の一部改正

前条例と同様に年金からの特別徴収に改正するものです。

(賛成多数)

地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する規約の一部改正

郵便局に住民票交付事務等をはじめとする特定の事務の取扱いを依頼している規約を郵政民営化法に基づき所要改正するものです。

(賛成多数)

御坊広域行政事務組合の規約変更

視聴覚ライブラリー業務の廃止や、関係市町の議員定数削減に伴う御坊市議会議員選出議員の定数1名減、管理者又は副管理者の代理規定への規定追加を行うものです。

土地開発公社定款の変更
郵政事業民営化に伴い、定款で引用している「郵便貯金」の語句を削除するものです。

(全員一致)

平成19年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出に6244万4千円を追加し、予算総額を95億6036万3千円とするものです。人事異動と給与等の改正による人件費の補正、町バス購入費、みやま保育園の外構工事費、寒川保育園のグラウンド整備費、紀の国森づくり基金活用事業費等の単独事業の追加、ふるさと振興公社の運営資金不足による追加委託料、8月の集中豪雨による災害への復旧費等が計上されています。

(賛成多数)

川辺簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出に683万8千円を追加し、予算総額を2億1193万2千円とするものです。

人件費の補正と松瀬地区の統合簡易水道に係る調査費、既存施設の修繕



美山保育園



松瀬簡水取水池

28万8千円を追加し、
予算総額を2億420
0万8千円とするもので
す。

(全員一致)

寒川財産区特別会計補
正予算(第1号)

当財産区の区有林に
おいて間伐を実施するた
めの経費として385万
円を追加し、予算総額を
439万円とするもので
す。

(全員一致)

平成18年度歳入歳出決
算の認定

この議案については、
9月議会で決算特別委
員会に付託されていまし
た。議会閉会中に委員会
による審査が行われ、今
議案に審査報告が提出さ
れました。

審査の結果は、次の意
見をつけて認定するとい
うものでした。

意見

1 実質公債費比率23・

3%に見られるように、
町財政の硬直化、緊迫化
が進んでいる。

行政の無駄を省くと共
に、事業の厳選化に務め
るなど、住民に不安を与
えない行政執行に努めら
れたい。

2 一般会計を含め数件
の特別会計に多くの不用
額を出している。

「最小の経費で最大の
効果を上げるべし」とす
る原則に則った効果的な
執行が肝要であるとの認
識にたつて、多額の不用
額を出さない予算編成と
予算執行を求める。

3 税及びその他の使用
料の滞納分で、税につい
ては悪質滞納分を地方税
回収機構へ徴収委託した
ことから収納実績もあが
り、また納税意識が喚起
されている。税の公平性
の観点から滞納ゼロを目
指して徴収努力を図られ
たい。

住宅使用料について
は、長期高額滞納者に文

書だけでなく訪問或いは
保証人と連絡を取ると共
に、退居も見据えた必要
な対応を図り収納に努め
られたい。

4 補助金は産業の振興
や特定の事業の奨励及び
公益上の必要性に基づい
て支出されるものである
から、各種団体へ補助金
の見直しや検討を行い、
町内一本化に向けた補助
制度に努力されたい。

5 下水道事業特別会計
については、施設整備も
ほぼ完了したことから、
今後は全戸加入への推
進活動に努力され、また

合併浄化槽設置による面
的整備計画地区への促進
も強力に行うことを求め
る。

6 簡易水道特別会計
で、有収率の低い施設の
原因究明を図り、有収率
向上に一層の努力を続け
られたい。

(賛成多数)



請願・陳情等の審査

文教厚生常任委員会

吉田369-6

全日本年金者組合日高

支部

執行委員長 谷口幸男
紹介議員 山本喜平

後期高齢者医療保険制
度の中止・撤回を求める
請願

請願者

和歌山県御坊市藤田町

継続審査と決定しまし

た。